

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②事業者情報

名 称：岐阜県立ひまわりの丘第三学園	種別：障害者支援施設
代表者氏名：酒 向 達 之	定員：生活介護 120名 施設入所支援 100名 就労移行支援 15名
所 在 地：関市桐が丘三丁目2番地	TEL 0575-23-2553

③総 評

◇特に評価の高い点

昭和48年に岐阜県より運営の受託を受け、昭和52年4月ひまわりの丘第三学園として発足した歴史のある施設である。広大な敷地の中での自然に恵まれた施設は、開放的な雰囲気を利用者にとって心の安らぎをもたらし、ゆったりとした生活の場となっている。また作業棟はそれぞれが独立した施設で利用者の自立支援と生きがいの場となっており、実施事業は、施設入所支援、生活介護、短期入所、共同生活介護・共同生活援助、日中一時支援、就労移行支援と多岐に渡っている。特にパン工房「ソレイユ」で製造されているパンやケーキ類は商品としての完成度が高く、今後のパン販売についての事業展開に期待したい。

定員100名の大規模施設であるが、職員数も多数を擁して様々な所に目が行き届いている。敷地の至る所で利用者が自由に過ごしていたり、職員と一緒に手をつないで歩いたりと一人ひとりの状態に合わせ、利用者の個性を大切にされた支援が行われている様子が伺えた。訪問時、利用者の方々から声掛けしていただいたり、挨拶を交わしたりしながら、利用者職員の良い信頼関係が保たれている印象も受けた。また職員は、利用者が主体の自治会の運営を尊重し、利用者の意向に沿って側面的支援に心がけている。調査時には、職員の利用者に対するケアの姿勢や思いが感じ取れた。

地域交流としての様々な学園行事、近隣大学と共催の「たのしみん祭」、「学園祭」、「夏祭り」等は毎年盛大に開催され、様々な障害者施設、関係団体、地域の人々の参加があり、地域に開かれた施設づくりに努めている。

◇改善を求められる点

建物が築40年経過し、老朽化による補修が必要な個所が多く見られた。設計思想も当時のものなので、現状では利用者の居室、トイレ、浴室などプライバシーを保持することが困難な造りとなっている。また開設当初から入所している利用者の高齢化も進み、居住環境や人的組織も大きな改革が必要となってきた。今後、改築の予定があるとのことなので、高齢化や重度化への対応やプライバシー保護についての配慮ある設備の充実に期待する。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

良い評価をいただきありがとうございます。築40年が経過しハード面では課題ばかりだと思いますが、我々の日々の努力を正当に評価していただいたと思います。

これからも職員個々のスキルアップに努め、サービス向上に邁進していく所存でございます。

⑤評価細目の第三者評価結果 (別添)